

第四十回 貴族院議事速記録第十五號

大正七年三月二十日(水曜日)

午前十時五分開議

議事日程 第十五號 大正七年三月二十日

午前十時開議

第一 大正七年度歳入歳出總豫算追加案(第二號) 審査期限ヲ定ムルノ件

第二 大正七年度歳入歳出總豫算追加案(第三號) 審査期限ヲ定ムルノ件

第三 大正六年度歳入歳出總豫算追加案(第二號) 審査期限ヲ定ムルノ件

第四 臨時軍事費豫算追加案(第二號) 審査期限ヲ定ムルノ件

第五 大正七年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號) 審査期限ヲ定ムルノ件

第六 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號) 審査期限ヲ定ムルノ件

第七 大正七年度歳入歳出總豫算追加案(第四號) 審査期限ヲ定ムルノ件

第八 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第三號) 審査期限ヲ定ムルノ件

第九 海軍ニ於テ海軍探炭所ノ石炭ノ買入ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第十 東京市區改正條例中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第十一 正條例及東京市區改正土地建物處分規則ヲ準用シ得ルノ法律案(政府提出、衆議院送付)

第十二 日本興業銀行法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第十三 朝鮮銀行法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第十四 郡制中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會
第十五 科學及工業教育ニ關スル建議案(伯爵林博太郎君外三名發議) 會 議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマヌ

〔成瀬書記官朗讀〕

一昨十八日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

罹災救助基金法中改正法律案

朝鮮ノ生産ニ係ル物品ノ移入税免除ニ關スル法律案

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ衆議院提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨衆議院ニ通知セリ

日本勸業銀行法中改正法律案

輕便鐵道法中改正法律案

軌道條例中改正法律案

同日議員伯爵林博太郎君外三名ヨリ三十九名ノ贊成ヲ以テ科學及工業教育ニ關スル建議案ヲ發議セリ

昨十九日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

狩獵法改正法律案特別委員會

委員長 子爵青山 幸宜君 副委員長 岡 喜七郎君

同日請願委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願文書表第九回報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

海軍ニ於テ海軍探炭所ノ石炭ノ買入ニ關スル法律案

東京市區改正條例中改正法律案

京都市又ハ大阪市ノ市區改正ニ關シ東京市區改正土地建物處分規則ヲ準用シ得ルノ法律案

朝鮮銀行法中改正法律案

大正七年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

大正七年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)

大正六年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

臨時軍事費豫算追加案(第二號)

大正七年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)

大正七年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第三號)

同日衆議院ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

郡制中改正法律案

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏

上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

朝鮮人官吏ノ恩給、退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案

同日衆議院ヨリ政府ニ於テ左ノ議案ヲ撤回セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

衆議院議員選舉法中改正法律案

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、御異議ガナケレバ
日程ノ第一ヨリ第八マデノ豫算案ハ一括シテ問題ニ供シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、尙ホ御諮リヲ致シマス、

本日モ通牒文ノ朗讀ハ省略イダシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第一、大正七年度歳入歳出總豫算追加案第二號、第二、大正七年度歳入歳出總豫算追加案第三號、第三、大正六年度歳入歳出總豫算追加案第二號、第四、臨時軍事費豫算追加案第二號、第五、大正七年度各特別會計歳入歳出豫算追加案特第一號、第六、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件追第二號、第七、大正七年度歳入歳出總豫算追加案第四號、第八、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件追第三號、審査期限ヲ定ムルノ件

〔左ノ送付文ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ玆ニ載録ス以下之ニ做フ〕

(第二號)大正七年度歳入歳出總豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正七年三月十九日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長大岡育造

(第三號)大正七年度歳入歳出總豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正七年三月十九日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長大岡育造

(第二號)大正六年度歳入歳出總豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正七年三月十九日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長大岡育造

(第二號)臨時軍事費豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正七年三月十九日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長大岡育造

(特第一號)大正七年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正七年三月十九日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長大岡育造

(追第二號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正七年三月十九日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長大岡育造

(第四號)大正七年度歳入歳出總豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正七年三月十九日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵徳川家達殿

(追第二號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正七年三月十九日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔國務大臣勝田主計君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(勝田主計君) 唯今議題ト相成ツテ居リマスル追加豫算ニ付キマシテ、第一ヨリ第八ニ互リマシテ大體ノ説明ヲ申上ダタイト思ヒマスル、大正七年度歳入歳出總豫算追加第二號ニ計上イタシテアリマスル所ノ金額ハ、歳入ニ於キマシテ六百七十餘萬圓、歳出ニ於キマシテ七百四十餘萬圓デアリマスル、此歳入歳出差引不足額六十餘萬圓ハ曩ニ協賛ヲ經マシタ大正七年度總豫算ニ於キマスル歳入超過額ヲ以テマシテ之ヲ支辨スルノ計畫ヲ立テテ居リマスル、此ニ歳出ノ重モナルモノニ付テ申上ダマスレバ、製藥阿片トシテ賣下ヲ致シマスル所ノ阿片ノ購入ノ爲ニ、阿片費ニ於テ百四十餘萬圓ヲ計上イタシテ居リマスル、又昨年夏期ニ於キマシテ天津ニ大洪水ガゴザイマシタ、此爲ニ被リマシタ損害ノ復舊費ト致シマシテ、外務省所管ニ於キマシテ七千餘圓、陸軍省所管ニ於キマシテ十四萬餘圓、遞信省所管ニ於キマシテ七萬餘圓ヲ計上イタシマシタ、尙ホ昨年秋期ノ暴風雨ノ爲ニ被リマシタ損害ノ復舊ト致シマシテ、東京灣砲臺第三海堡復舊ニ關シマスル所ノ經費總額三十三萬餘圓ノ中、大正七年度ニ於キマシテ八萬圓ヲ計上イタシマシタ、横須賀工廠建造物等ノ復舊ニ關シマスル所ノ經費十九萬餘圓ヲ計上イタシテゴザイマスル、其他電信電話線路、電氣試驗所及商船學校石垣等ノ復舊ヲ要シマスル經費四十餘萬圓ヲ計上イタシテゴザイマスル、又東亞同文會ニ對シマシテ大正七年度以降四年度ニ互リマシテ總額五十八萬圓ノ補助ヲ致シタイト云フ計畫ヲ立テマシテ、本年度ニ於キマシテ三十五萬餘圓ヲ要求イタシテゴザイマスル、同仁會ニ對シマシテ大正七年度以降三年度ニ互リマシテ總額三十萬圓

ヲ毎年十萬圓ヅ、補助スル計畫ヲ立テマシテ、本年度分トシテ十萬圓ヲ計上イタシテゴザイマスル、澱川ノ改修工事増補費ニ於キマシテ總額五百九十七萬圓ヲ大正七年度以降六箇年度ノ繼續費ト致シマシテ、其本年度ニ要シマスル經費百萬圓ヲ計上イタシテゴザイマスル、朝鮮師團建築費ニ不足ヲ生ジマシタニ付キマシテ、是ガ追加額トシテ五十二萬餘圓ヲ計上イタシテゴザイマスル、尙ホ兵器製造所ノ新設費ニ不足ヲ生ジマシテ、其總額百八十萬圓ヲ大正七年度以降二箇年間ニ互リマシテ、既定ノ繼續費ニ追加スルノ計畫ヲ立テマシタ、之ガ爲ニ本年度ニ要スル經費三十萬圓ヲ追加豫算ニ計上イタシマシタ、元屯田歩兵救恤金トシマシテ十三萬餘圓ヲ計上イタシマシタ、大阪監獄移轉建築費ニ於キマシテ總額百八十萬圓ヲ大正七年度以降七箇年度ノ繼續費ト致シマシテ、其本年度分四十五萬圓ヲ計上シマシタ、尙ホ京都地方裁判所ノ繼續費ト致シマシテ、サウシテ其本年度分八萬圓ヲ計上イタシテゴザイマスル、此外神戸郵便局ノ局舎、其他火災復舊ノ爲ニ遞信省所管ニ於キマシテ三十七萬圓ヲ計上イタシテアリマスル、是等ガ即チ歳出ノ重ナルモノデゴザイマスル、右歳出ニ對シマスルモノノ財源ト致シマシテハ、官有物拂下代二百餘萬圓、澱川改修増補工事ニ伴ヒマスル地方分擔納付金四十萬圓等ノ外、前年度剩餘金ノ繰入ガ三百餘萬圓ヲ歳入ニ計上イタシテゴザイマスル、是ガ大體日程ノ第一ニ載ツテ居リマスル所ノ追加案ノ大要デゴザイマスル、次ニ時局ノ進展ニ伴ヒマシテ、臨時軍事費ニ於キマシテ二千五百餘萬ノ追加ヲ致シテゴザイマスル、此中陸軍ガ約千九百九十萬圓、海軍ガ五百十六萬圓クラキニナツテ居リマスル、而シテ是等ノ財源ト致シマシテ、前年度剩餘金ヲ主トシテ用ヒマシテ、前年度剩餘金ヲ一般會計ヘ入レ、之ヲ臨時軍事費ニ支出スルト云フ其形式ヲ執リマスル爲ニ日程第二、第三ト云フ此形式デ提出ヲ致シテゴザイマスル、其不足ヲ致シマスル分ハ追加豫算第一號ニ於キマシテ歳入超過部ガ四十萬圓バカリゴザイマスル、之ヲ以テ此不足額ヲ補充イタシマスル計畫デゴザイマスル、特別會計ニ關シマシテハ、第一ニ樺太ノ特別會計ニ於キマシテ、鐵道建設費ト致シマシテ百二十餘萬圓ヲ計上イタシテゴザイマスル、御承知ノ通り樺太ニ於キマシテ同島ノ開拓ノ爲ニ鐵道ヲ敷設イタシマスル其總費額ハ五百四十餘萬圓デアリマシテ、大正七年度以降五箇年間

ノ繼續費ト致シテアルノデゴザイマスル、其財源ヲ是ハ公債ニ仰グト云フ計
畫ヲ立テテ居リマス次第ゴザイマス、右ノ公債發行ノ計畫ニ伴ヒマシテ、
國債整理基金特別會計ニ於キマシテ其利息等ノ關係ガアリマスルカラシテ、
多少ノ追加ヲ要スルモノガ、是ガ計上ヲ致シテゴザイマスル、尙ホ九州帝國
大學特別會計ニ於キマシテ多少ノ新營費、學校及圖書館特別會計ニ於キマシ
テ多少ノ設備費等ガゴザイマスルノデ、各、追加要求ヲ致シマシタ次第ゴ
ザイマスル、第六ニアリマスル豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ハ、是ハ曩
ニ述ベマシタ東亞同文會竝ニ同仁會ニ對シマスル所ノ補助ノ形式ノ提案デゴ
ザイマスル、第七ノ追加第四號デアリマスルガ、本號ニ掲ゲテアリマスル所
ノ金額ハ歲入歳出各、六萬六千餘圓デゴザイマシテ、其財源ハ全部前年度繰
入金ヲ以テ之ニ充ツルノ計畫ヲ立テテ居リマスル、此重ナルモノハ貴族院令
ノ改正ニ依リマシテ人員ガ殖エマスルニ付キマシテ、其歲費竝ニ之ニ伴フ所
ノ經費、其額ガ約四萬千六百圓バカリゴザイマスル、其外ニ都市計畫調査會
ヲ速ニ設置イタシマスル必要ヲ認メマシテ、其經費ト致シテ二萬五千餘圓ト
云フモノヲ計上イタシテゴザイマス、是ガ第七ノ大體ノ趣意デゴザイマス、
第八ノ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ニ關スル件、是ハ日本興業銀行ノ發
行イタシマスル所ノ債券ニ政府ガ元利ヲ保證スルト云フ件デゴザイマス、御
承知ノ通り今日時局ニ於テ殊ニ對外投資ト云フコトガ非常ニ必要デゴザイマ
ス、然ルニ對外投資ニ關係イタシテ其資金ヲ得ルコトガ甚ダ困難デゴザイマ
ス故ニ、興業銀行ノ債券ニシテ之ヲ對外投資ニ用ヒマスル分ニ對シマシテ、
政府ガ元利ノ保證ヲ致シタイ、斯ウ致シテ潤澤ナル資金ヲ得、竝ニ低利ナル
資金ヲ得テ、之ヲ海外ニ投資イタシタイト云フノガ詰リ此案ノ精神デアリマ
ス、大體右様ノ次第デゴザイマスル、會期切迫ノ際デアリマスルガ、何卒速
ニ御審査ノ上協贊ヲ與ヘラレムコトヲ偏ニ希望イタシマス

○高橋作衛君 質問イタシタウゴザイマス、外務大臣ハ御出ニナリマセヌカ
○議長(公爵徳川家達君) 内務大臣ハ出席シテ居ラレマス……外務デスカ

○高橋作衛君 外務大臣……
○議長(公爵徳川家達君) 外務大臣ハ見エテ居ラレマセヌ

○高橋作衛君 然ラバ其他ノ大臣ノ方カラ御答辯ヲ願フモ宜シウゴザイマ
ス、私ノ御尋ネ致シタイト思フコトハ外務ニ關シテ居ルコトデゴザイマス、
第一ニ御尋ネ致シタイノハ、此追加豫算ト致シマシテ、同仁會、東亞同文會

ニ對スル補助ノ豫算ガ計上シテアリマス、此事柄タル誠ニ御趣意ニ於テハ結
構ナコトデ、斯ノ如キ會ヲ援助スルコトニ依リマシテ、日支親善ノ實ヲ舉ゲ
ルト云フコトガ出來ルト思フノデゴザイマス、此補助ヲ爲スノ必要ト云フコ
トハ極メテ明瞭デアリマスニモ拘ラズ、何故ニ斯クモ遅ク追加豫算トシテ御
出シニナリマシタノデゴザイマスカ、我々共ノ考ヘマスル所ニ依リマスルト、
他ノ方法ニ依ッテ日支親善ヲ圖ラウト云フヤウナコトハ多クノ場合ニ於テ却
テ支那人ノ誤解ヲ招グヤウナコトガアルノデゴザイマス、併シ斯ノ如キ學校
ヲ造ルトカ、或ハ醫術ヲ以テ支那人ヲ救済スルト云フヤウナ、斯ウ云フ穩當
ナ日支親善ヲ圖ルベキト云フヤウナ事柄ニ付テハ、政府ハ先ヅ之ヲモット早
ク、現内閣ノ御趣意トシテハ早ク御提出ニナッテ然ルベキモノト思フノデア
リマス、而シテ此高ヲ見マスルト如何ニモ少イノデアリマス、例ヘバ米國ノ
「ロックフェラー」ノ如キハ約百五十萬弗ノ資金ヲ寄附イタシテ、サウシテ病院
等ヲ造ルト云フ設計ヲ立ッテ居ル、同仁會ノ如キハ僅ニ其「ロックフェラー」ノ
設計シテ居ル所ノ鄰ニ十萬圓バカリノ病院ヲ造ルト云フコトニナッテ居リマ
ス、場所モアラウニ鄰デ、片方ハ大ナル設計ヲ立ッテ居ル、日本ノ方デハ其
資金ガ乏シイ爲ニ、僅ニ十五分ノ一……三十分ノ一位ノ仕事シカ出來ナイト
云フヤウナモノデアッテ見レバ、是ハ兎ニ角國家カラ見テ、モット早く斯ウ云
フ所ヘハ御補助ニナッテ然ルベキモノト思フノミナラズ、其額モ十萬圓ツ、
三年ナドト云フ少額デハ、ドウモ日支親善ノ實ヲ舉ゲルト云フコトハ甚ダ覺
束ナイト考ヘル、何故ニ斯ノ如キ小サイ補助ヲ爲スッタト云フコトヲ伺ヒタ
イト云フノガ第一、第二ニハ米國ガ單リ支那ニ於テノミナラズ、極東方面ニ
於テ非常ニ總テノ事柄ニ付テ所謂機先ヲ制シテ居ル、而シテ西比利亞方面ニ
於テ益、其働キヲ進メテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマス、例ヘバ是ハ事實
デアアルカドウカ存ジマセヌケレドモ、昨日アタリ新聞ノ號外ナドガ出マシタ、
黒龍江ノ交通權ヲ得タ、ドウモ私共ノ考ヘマスルノニハ、勿論其權利ヲ與フ
ベキ其人ガ極ッテ居ラナイノニ、ソレヲ與ヘラレタト云フ事柄ガアルト云フ
コトハ、存在シ得ベカラザルモノト理窟上思ヒマスルケレドモ、併シ世ノ中
ノコトハ法理通りニハ行カヌモノデ、實際ニ於テ斯ノ如キ權ヲ得タト云フ事
實ガアルノデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、又斯ノ如キコトハ豫想シ
得ベキコトデアアルノニ、其豫想シ得ベキコトヲ豫防スルト云フヤウナコトハ、
政府デハ御執リニナラナカッタノデアアルカ、ドウデアアルカト云フコト、ソレガ

第二、是ハ私ハ、私自己トシテ、齊東野人ノ語トシテアルベキモノトハ思ヒマスガ、チヨット聞キマスル所ニ依リマスルト、先頃犬吠岬ノ沖デ亞米利加ノ船ガ難破シタ時ニ、日本ノ者ガ援助ニ到ラナカッタ、併シ救済ノ必要ガアルノデ、無線電信カ何カラ以テ救済シタ、即チ他ノ方面ヨリ救済ヲ仰イダ、其船ハ西比利亞ノ方カラ歸ッテ來タ船デアアル、而シテ其中ニハ錫ガ積ンデアルト云フヤウナコトヲ聞キマシタガ、人ノ噂ニ依リマスルト三千噸バカリ、併シ人數ハ分リマセスケレドモ、米國人ガ西比利亞ヘ行ッテ其歸リ途デアアルト云フヤウニ聞イテ居リマス、是ハ恐ラクハ事實デアハナカラウカトハ思ヒマスケレドモ、是モ若シヒヨットシテ事實デアルトスレバ、西比利亞方面ニ對シテ亞米利加ノ方デハナカク、能ク人モヤリ、色々ナコトヲスル、一面日本ニ於テハ西比利亞ノ方デ騷擾スルト云フト其人民ガ引揚ゲルト云フヤウナコトニナル、相對スル關係ニ非常ナ差ガアルヤウニ思フ、日本ノ方デハ引揚ゲル者ヲ止メテ、サウシテソレヲ保護スル爲ニ兵デモ出スト云フコトニシタ方ガ私共適當ト思ウテ居ルノデアリマスガ、ソレハ議論ニナリマスカラ差措イテ、唯今申シタヤウナ事實ガアッタノデゴザイマセウカ、私共ニハ分リマセスカラ、サウ云フコトハ政府デ御調ベニナッテ居ルコトト思ヒマスカラ、御分リデアッタ承ハリタイ、而シテ第三ニ承ハリタイノハ、一體此西比利亞ニ出兵スルト云フコトノ問題ハ餘程長ク研究ヲサレテ居リマスガ、政府ハマダ御研究ガ積マナイノデアリマスガ、ソレヲ承ハリタイ、一體日本ノ國民ノ中ニハ出兵ト云フコトニ異存ハナササウデアアルガ、出兵ノ原因トカ、出兵ノ理由ト云フコトニ付テ疑ヲ懷イテ居ル、而シテ又其必要其モノニ付テモ多少疑ヲ懷イテ居ルモノノヤウデアリマスガ、儉安姑息、大ニ平氣ニナッテ居ルヤウデアリマス、私共研究シマシタ所デハ、實ハモウ獨逸ノ勢力ハ西比利亞ニ這入ッテ居ルヤウニ思ヒマス、ト云フコトハ極ク眞面目ナ緻密ナル研究ニ依ッテ、明カナル材料ヲ得テ居リマス次第デアリマスノデ、西部ノ獨逸ノ兵ガ此方ヘ來タ時ハ既ニ手ヲ著ケラレナイ時デアアル、ソレ以前ニ於テ今日ニ於テハ獨逸ガ既ニ東漸ト申スケレドモ、這入ッテ居ル、將ニ這入ラムトスルニ非ズシテ既ニ這入ッテ居ル、其這入ッテ居ルモノガデスネ、マダ俘虜ハ「イルクツク」邊リデ以テ一師團グラキ武装セシメタト云フヤウナコトニ過ギナイノデアリマスルカラ、今ナラバ出兵シテモ效果ガ舉ガル時デアリマス、彼是遷延シテ、今デハ獨逸ノ兵ガ西部カラ來ヌカラ宜イト云フヤウナコトデ安心シ

テ、愈、向ウカラ兵ガ來タ時分ニハ迎モ間ニ合ハヌ時デアラウト思ヒマス、デアリマスルカラドウシテ見テモ、今此出兵ノ必要ノアルト云フコトヲデスネ、寧ろ政府ガ何故ニ人民ニ御示シナラナイノデスカ、此場所ニ於キマシテ外務大臣ニ屢、承ハリマシタ、質問イタシマシタニ、其事ニ付テハ知ラナイ、知ツタコトデモ知ラナイト仰ッシャル、又言フベキコトデアッテモ今ハ時機デナイト云フヤウナ具合ニ、何ヲ言ツテモ口ヲ噤ンデ御出デナサルト云フコトハ、是ハ却ッテ宜シクナイト私ハ思フノデアリマス、ソレデ私ガ質問イタシマスルノハ、有ノ儘ノコトヲ御答辯願ヒタイト云フコトナンデアリマスガ、今マデ外務大臣ノ御答ノ仕方ガ斯ノ如クニ一切口ヲ噤ンデ御出デナサツテ、而シテ出兵スベキヤ否ヤト云フコトニ付テハ、一面ニ他ノ方面ニ於テ何ト言ッテナサルカト云フト、國民ノ決心ガマダ付カヌヤウデアアルト仰ッシャル、必要ヲ示サズシテ決心ノ付ク筈ハアリマセヌ、サウ云フヤウナ矛盾シテ居ルコトヲ言ッテ居ナサルガ、不誠意極マルモノト私ハ斷ズルノデアリマス、故ニ此ノ如キ必要アリ、出兵ノ必要ガアルト云フ所ノ事實ナリ、故ニ出兵スルト云フコトヲ何モ今ハ仰ッシヤッテ下サラナイデモ宜イ、例ヘバ東部西比利亞ノ方ニ多數ノ俘虜ガ、例ヘバ或ル場所ニ於テ十萬ノ人が居ル、或ル場所ニ於テハ二萬五千居ルト云フヤウナコトデ、是等ノ者ガ愈、武装ヲ著ケルト云フコトニナッタナラバ、ソレガ過激派ト組ンダナラバ、日本ノ地位ト云フモノハアブナイモノダト云フ所ノ御説明ヲ承ハリタイノデゴザイマス、ソレガ今マデ始終御隱シニナルモノデアリマスカラ、却ッテ國民ガ其十分ノコトヲ知ラナイト云フ、其危險ヲ知ラナイ爲ニ一致セヌ、一致セヌ所ヲ口實ニシテ出兵セヌトカ、スルトカ云フコトハ、論理ニ於テ甚ダ矛盾極マルモノト私ハ思ヒマス、今ヤ西比利亞ニ於ケル所ノ形勢ハ危險デアアルト云フ御自覺ニナリマスルモノナラバ、其程度ノ御説明ヲ承ハリタイト思フノデス、其三ツデアリマス

〔國務大臣勝田主計君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(勝田主計君) 高橋君ノ御尋ネノ第一點ニ付テノミ私ヨリ御答ヲ致シマス、即チ東亞同文會並ニ同仁會ニ關スル補助ノ事柄ヲ何故ニ斯様ニ遲レテ追加豫算ニ組ンダカ、茲ニ若シ之ヲ組ムトスルナラバ、何故ニ斯様ニ少額ヲ組ンダノデアルカ、之ニ付テ私ハ御答ヲ致シタイト思フノデアリマス、高橋君ノ此經費ヲ計上イタシマシタ事柄ノ遅レタト云フコトニ付キマシテハ、

甚ダ政府ト致シマシテモ遺憾ニ存ズル次第アリマス、併ナガラ此經費ヲ計上イタシマスルニ付キマシテハ、同文會或ハ同仁會ト種々ナル交渉其他ガ大分ニ手間取リマシテ、之ヲ本豫算ニ於キマシテ計上イタスベカリシモノデアリマシタケレドモガ、遂ニ今日ノ如ク遅レタシデアリマス、而シテ斯ク遅レマシタガ爲ニ、之ヲ抛棄スベキモノデアルカト斯ウ申シマスルト、既ニ高橋君モ御認メニナツテ居ル如ク、今日ノ時局ニ於テ斯ノ如キモノハ誠ニ必要ナ經費デアリマスノデ、已ムヲ得ズ此追加豫算ニ計上ヲ致シタ次第ゴザイマス、而シテ其金額ニ付キマシテハ、成ルホド一面カラ申シマスレバ或ハ少額デアルト云フヤウナコトガアルカモ知レマセヌガ、是ハ同文會、或ハ同仁會ニ於キマシテ相當ノ計畫ヲ立テマシテ、略、是デアレバ今日ノ所ハ先ヅ宜シト云フコトデアリマスルノデアリマス、其他政府ニ於キマシテモ是等ノ同文會、或ハ同仁會等ガ爲ス事業ノ外ニ支那ニ對シテハ種々計畫、畫策シテ居ル所ガアリマスルノミナラズ、又財政上ノ見地カラ致シマシテモ、今直チニ是等ニ向ツテ巨額ノ補助ヲ致スト云フ譯ニモ參リマセヌノデ、ソレ故ニ遺憾ナガラ唯今計上シテ居リマスル所ノ金額ヲ要求イタシタト、斯様ナ次第ゴザイマス、是ダケ御答辯イタシマス

〔國務大臣伯爵寺内正毅君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵寺内正毅君) 唯今ノ高橋君ノ外交上ニ關スル御尋ネデス、生憎ト外務大臣ハ他ニ出テ居リマシテ、此ニ列席ヲ致シテ居リマセヌ、私ヨリ概略ノ御答ヲシテ置キマス、尙ホ正シキ精密ナコトガ御聽キニナリタイト云フコトデアリマシタラ、他ノ機會ニ於テ外務大臣ヨリ述ベルコトニ致シマス、第一此西比利亞ニ對シマシテ黑龍江ノ船ヲ云々ト云フ御尋ネデアリマス、政府ハ不幸ニシテ未ダ亞米利加ノ人ガ黑龍江ノ船ヲ皆露西亞人ヨリ買ヒマシタト云フコトハ確カノ報告ヲ得テ居リマセヌ、私モ昨日カ新聞ノ號外、即チ國民新聞ノ號外ヲ見マシタ、「ナイト」提督ガアノ船ヲ亞米利加ノ方ニ取入レラレタト云フコトデアリマス、「ナイト」提督ハ東洋艦隊司令長官デアリマス、恐ラク此人ガサウ云フコトヲサレルト云フコトハ間違ダハアルマイカト思ヒマス、又犬吠岬ニ船ガ云々ト云フコトデアリマシタ、是モ私ハ何ノ報告モ得テ居リマセヌガ、高橋君ノ御説ノヤウニ恐ラクハ或ハ亞米利加ノ人ノ西比利亞ノ方ノ即チ浦鹽方面ニ往復スル者カモ存ジマセヌ、是ハ確カナ報告ヲ得マセヌカラ、何等確言ヲ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、浦鹽方面ハ列國ノ人ガ

皆往來スル所デアリマス、或ハサウ云フコトカトモ思ヒマスル、何レ之ニ付テハ、マダ外務大臣モ何モ報告ヲ得テ居ラレマセヌヤウデアリマスガ、取調ベタ上デ詳シク申上ゲテモ宜シウゴザイマス、ソレカラ此出兵問題、此出兵問題ニ付テハ政府ハ何等決定ヲシテ居リマセヌ、又唯今高橋君ノ仰ッシャル如ク、西比利亞ニ在ル所ノ捕虜ガ云々ト云フコトヲ、ソレ程ニ心配ヲシテ居リマセヌ、我が帝國ノ威力ハソレ等ノコトニ付テ、ソレ程ニ心配スルホドノ無力ノモノデアハナイト私ハ信ジテ居リマス、是ダケガ御尋ネノ中ノ要點デアタト思ヒマス、是ダケ御答シテ置キマス

○高橋作衛君 第一ノ點ニ關シマシテハ、事細カイコトニナリマスルカラ、是ハ豫算委員會デ尙ホ私ノ伺ヒタイ所ヲ伺フコトニ致シマス、第二ノ點ニ付キマシテハ、是ハマダ事實ヲ御承知ナイト云フコトデアリマスカラ、御分リノ時ニ承ハレバ宜シイノデアリマスガ、第三ノ點ニ付テハ私ノ御尋ネシタノハ俘虜ガドウ云フ風ニナツテ居ルカ、ドウ云フ有様デアアルカト云フコトヲ御說明ヲ願フ積リデアリマシタガ、其事ハ御説明ハナク、俘虜ガ居ッタ所デ心配ナイト云フ結論ダケ御話デアリマシタガ、其結論ニ付キマシテハ私ハ反對ノ意見ヲ持ツテ居リマスガ、今日意見ヲ述ブル場合デアリマセヌカラ、ソレハ遺憾ナガラ止メテ置キマス、外務大臣ガ御出ガゴザイマセヌカラ、私ハ此場合質問ハ是デ打切ツテ置キマスガ、併シ豫算委員會デ尙ホ承ハリタイトイデスカラ、ドウゾ外務大臣ハ怠リナク御出席ニナルコトヲ希望イタシマス

○江木千之君 私ハ一點政府ニ御尋ネヲシタイト考ヘル、日程ノ第七豫算ニ貴族院令ノ改正ニ伴フ經費ノ増額ヲ要求シテ居ラレマスルガ、衆議院ニ於ケル選舉法ノ改正ニ伴フ所ノ經費ノ要求モ同時ニ出ルコトデアラウト期待シテ居ッタノデアリマスルガ、豫算ニハ見エテモ居リマセヌ、又其改正法律案ハ政府ハ昨日ヲ以テ衆議院ヨリ撤回セラレタト云フコトヲ承ハリマシタガ、如何ナル理由ヲ以テ撤回ナサレタノデアアルカ、詳細ニ承ハリタイト考ヘマス

〔國務大臣男爵後藤新平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵後藤新平君) 衆議院ニ提出ニナリマシタ選舉法別表ノ撤回ノコトニ付テ江木君カラ御質問デアリマス、是ハ政府ノ提案イタシマシタ別表ノ外選舉法ニ伴フ所ノ選舉區、選舉權ノ擴張、罰則等ヲ一括シマシタ所ノ、各、異ナツタル所ノ三案ヲ見ルニ至リマシタノデアリマス、此ニ於テ政府ハ慎重ニ調査ノ必要ヲ認メマシテ、撤回ヲ致シタノデアリマス

○江木千之君 如何ニモ了解シ兼ネル御答ト思ヒマスガ、選舉區ノコト其他ニ付テ衆議院デ議論ガ出タカラ、篤ト調査スルノ必要ヲ認メテ撤回シタト云フコトデアリマスルガ、選舉法ニ關シテ議院又ハ政黨間ニ意見ノアル所ハ、苟モ政治ニ首ヲ突ッ込シ居ル者ハ是ノ分ラヌ人ハ殆ドナカラウト私ハ考ヘルノデアリマス、貴族院ニ於テハ選舉區ニ付テハ大選舉區ヲ可トスルト云フコトハ、貴族院ノ今日迄ノ院議デアアル、又衆議院ニ於ケル大政黨タル政友會ハ小選舉區ヲ主張スルト云フコトハ、是ハ多年ノ持論デアルト云フコトハ天下ニ明カナル事實デアアルノデアアル、此事實ヲ目前ニ見ナガラ、別表ノ改正ダケヲ提案セラレタト云フコトハ、政府ハドウ云フ御考デアルカ、初ヨリ之ヲ通過サスノ考ハナクシテ提案サレタノデアアルカ、今ニ至ッテ何ヲ調べラレルノデアアル、一切了解スルコトガ出來マセヌカラ、モウ少シ詳シク御説明ヲ願ヒマス

〔國務大臣男爵後藤新平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵後藤新平君) 江木君ノ御質問ニ御答イタシマスガ、固ヨリ此選舉區ノコトニ付テハ歴史ノアルコトデアリマシテ、是等ノ意見ノ相違ノアルコトハ承知シテ居ルノデアリマス、而シテ別表ノミヲ提案シタ理由ハ如何ナルコトデアッテ、又之ヲ通過サセルト云フコトニ付テハ確信ガ無いノデハナイカト云フ御尋ネ、之ニ對シマシテハ内務省ニ於テ選舉法調査委員會ヲ開キマシタトキニ、別表ダケガ調査會デ結了イタシマシタ、其他ノコトハ調査會ヲ結了イタシマスルマデニ……種々ノ意見ハ出マシタガ、固ヨリ選舉區ノコトニハ原案ガ提出サレテナカッタノデモアリマシタガ、是等ノコトハ調査會ニ於テ審議ヲ了シテ居リマセヌノデアリマシタ、デ調査會ニ於テ審議ヲ了シタ部分ニ付テ、先ヅ之ヲ提案シヤウト云フコトニ決定イタシマシタ、其當時ニモ此選舉區ノコトモ調査イタシマシタ、又選舉權擴張ニ關シテモ調査イタシマシタ、罰則ニ關シテモ種々ノ調査ヲ致シタノデアリマシタガ、是等ノコトハ結了ニ至ラヌケレドモ、調査會ヲ結了シタ所ノモノヲ先ヅ提案シヤウ、別表ハ全ク別ノモノデアアルカラ提案シヤウ、唯選舉區ノ關係ニ於テハ別表ハ大ナル關係ガアルモノデアリマスルケレドモ、選舉區ハ現在ノ儘ニシテ、此別表ノ改正ヲ提案スルガ宜カラウト云フコトデ、之ヲ通過サセル確信ヲ以テ提案シタニ相違ナイノデアリマス、然ルニ各派ヨリ提案ガアリマシテ、其提案中各ノ見ル所固ヨリ違フノハ當然ノコトデアリマスガ、之ヲ一括ト致シ

テ考ヘテ見マスルト、更ニ十分ニ考慮スベキ所ノモノアルコトヲ見出シマシテ、又此法案ハ即日施行スルモノデハナクシテ、マダ年限ヲ要スルモノデ、次ノ選舉ニ施行スベキモノデアリマスルカラ、且ツ申ス迄モナク憲法附屬ノ法案デアリマシテ、尙ホ慎重ナル調査ヲスルノ必要アリト認メマシタカラ、茲ニ之ヲ撤回イタシマシテ、更ニ調査ヲ致スト云フコトヲ政府ハ決定イタシテ、撤回イタシタノデアリマス

○江木千之君 益分ラヌヤウニナリマシタガ、調査會ニ於テ別表ダケノ改正ヲ希望スルト云フコトニナッタデ、是ハ衆議院ヲ通過出來ル確信ガアッテ提出シタト云フコトデアリマスルガ、其確信ハ何ノ役ニモ立タナカッタ、其理由ノ御説明ガアルカト見ルト、唯「然ルニ」ト云フ一語、然ルニ衆議院デハ色々ノ案ガ出タ、誠ニ分ラヌ御答デアリマス、調査會ニ於テ別表ダケノ改正ヲ望ムト斯ウ言ツタト同時ニ、衆議院ノ大政黨モ多年ノ主張ヲ抛ツタモノト御考ヘニナツタノデアリマセウカ、斯ノ如キ淺薄ナル御考ヲ以テ、此憲法附帶ノ重要ナル法律案ヲ提案ニナツタノデアリマセウカ、此點ガ更ニ私分ラヌノデアリマス、且又樞密院ノ御諮詢ヲ經テ居ル憲法附帶ノ大法律デアアル、ソレヲ財政計畫ヲ抛ツコト弊履ヲ脱スルガ如ク、此大法律ノ改正ヲ抛ツコト弊履ヲ脱スルガ如シト云フ有様デアリマスガ、斯ノ如クシテ樞密院ニ對シテモ濟ムト云フ御考デアリマセウカ、斯ノ如キ政府ノ處置ト云フモノハ、至公至平ノ位置ニ居ル所ノ樞密院ノ位置ヲ國民ヲシテ疑ハシメルノデハナイカト考ヘル、唯時ノ内閣ノ言フガ儘ニナルト云フガ如ク國民ヲシテ解セシムル虞モアルノデアアル、又是ハサウ急グノデナイカラ撤回シタト云フ御答辯デアリマス、是ハ最初ヨリ分ッテ居ル、然ラバ此度提案セラレタノハ貴族院令ヲ改正スル御附合ニ出シタト云フ趣意ノヤウニ疑ハシメルノデアリマスガ、此邊ハ如何デアリマスカ

〔國務大臣男爵後藤新平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵後藤新平君) 重ネテ江木君カラノ御質問ガアリマシタカラ一言申上ゲマス、大政黨タル政友會ハ選舉區ノ意見ニ付テ小選舉區ヲ主張シテ居ルト云フコトハ最初カラ分ッテ居ルコトデアアル、調査會ニ於テ別表ヲ決議シタ時分ニハ、既ニ大政黨ガ其意見ヲ抛棄シタモノト看做シタノデアッタカ、是ガ質問スベキ點デアルト云フコトヲ言ハレタヤウデアリマスガ、決シテ其當時ニ於テ左様ナル見解ヲシタ譯デハアリマセヌ、先刻モ申述べマシタ

ヤウニ、政府ハ現在ノ制ヲ以テ選舉區ノコトハ此儘ニ致シテ置イテ、別表ノ如ク改正シヤウト云フコトニ決定シタル所ノ調査會ノ意見ヲ採用シタノデアリマス、其大政黨ノ意見如何ニ依ッテ決定シタモノデハナイノデアリマス、而シテ此撤回ニ至ッタノハ、弊履ヲ抛ツガ如ク、容易ニ之ヲ撤回シタヤウニ言ハレマスガ、是ハ江木君ノ御意見デアリマシテ、政府ハ慎重ニ考慮ヲ致シマシテ、各種ノ提案ニ付テ能ク參照シマシタ上ニ、猶ホ時日ノアルモノデアアルカラ、茲ニ考慮ヲ加ヘルコトガ必要デアルト認メマシタノデアリマス、又樞密院ノコトニ付キマシテ、樞密院ノ御諮詢ヲ經テ提出スル位ノモノデアリマスカラ、政府モ容易ニ之ヲ撤回スルコトハ固ヨリ敢ヘテシナイコトデアリマス、併ナガラ斯ノ如ク慎重ナル考慮ヲ要スベキモノデアリマスカラ、慎重ナル上ニモ更ニ慎重ナル考慮ヲ加ヘタ上ニ之ヲ撤回シテ、猶ヨリ善キ法案ニスルコトノ望ヲ政府ガ有ッタ以上ニハ、之ヲ責任ヲ以テ撤回シテ、サウシテ其責任ノ重キヲ盡スト云フコトガ政府ノ本意デアルト考ヘタノデアリマス

○江木千之君 ドウモ御答ニ依ッテ見ルト、貴族院令改正ノ御附合ニ出サレタモノト云フ惑ヲ解クコトハ出來ヌノデアリマスガ、幾度御尋イタシテ見テモ、慎重ニ考ヘタト云フヤウナ言葉ヲ五遍モ六遍モ繰返ヘサル、ニ過ギナイノデアリマスカラ、此間答ハ果シテ如何ナルモノデアアルカト云フコトハ、今日ノ速記ノ儘之ヲ國民ニ示スノ外ハナイト考ヘマスルカラ、此質問ハ、此以上質問スルコトハ無用ト本員考ヘマスカラ、ソレハ止メマスガ、要スルニ政府ハ誠意モナケレバ誠心モナイト考ヘルノデアアル、斯ノ如ク易々トシテ撤回スルト云フガ如キハ、幾ラ口ニ慎重ニ考慮シタト云フコトヲ繰返シテモ誠意ノ……

○議長(公爵徳川家達君) 江木君ニ御注意イタジマスカ、御質問デナケレバ、御意見ハ御無用ニ願ヒマス

○江木千之君 希望ヲ述ベルノデアリマス、政府ハ苟モ斯ノ如キ輕擧ヲセラレザラムコトヲ偏ニ希望スルノデアリマス

○淺田徳則君 唯今日程ニ上ッテ居リマス、第一ヨリ第八ニ至ル各豫算案審査期限ヲ定ムルノ件デアリマス、既ニ會期モ切迫イタシテ居リマス故ニ、日限ヲ定メズ、審査結了次第報告スルコトニ致シタイト存ジマス、ドウゾ御賛成ヲ願ヒマス

○男爵石黒忠惠君 賛成ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 淺田君ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第九、海軍ニ於テ海軍採炭所ノ石炭ノ買入ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

海軍ニ於テ海軍採炭所ノ石炭ノ買入ニ關スル法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正七年三月十九日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

海軍ニ於テ海軍採炭所ノ石炭ノ買入ニ關スル法律案
海軍ニ於テ海軍採炭所ヨリ石炭ヲ買入ルル場合ニ於テハ前金拂ヲ爲スコトヲ得

〔國務大臣勝田主計君演壇ニ登ル〕

○國務大臣勝田主計君 御承知ノ如クニ、海軍採炭所ハ明治四十年ヨリ特別會計ヲナシテ居ルモノデアリマシテ、運轉資本トシテ十萬圓ヲ有ッテ居リマス、然ル所其後採炭ノ業務ガ發達イタシマシテ、其經費ニ於キマシテモ、今日ハ當初ニ比較イタシテ見マスト云フト、三倍以上ニモ上ッテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス、ソレ故ニ此運轉資本ノ十萬圓デ之ヲ經理イタシテ行キマスト云フコトハ甚ダ困難ニナリマシタノデ、茲ニ海軍ガ採炭所ヨリ買ヒマス所ノ其代金ノ前拂ヲ致スト云フコトヲ致シマスレバ、其經理ガ圓滑ニナリマス次第デアリマスノデ、其途ヲ開キタイト云フノガ本案ノ精神デゴザイマス、ドウカ御審議ノ上御協賛ヲ願ヒタウ存ジマス

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔岡書記官朗讀〕

海軍ニ於テ海軍採炭所ノ石炭ノ買入ニ關スル法律案特別委員

伯爵柳原 義光君 子爵細川 立興君 子爵櫛笥 隆督君
子爵京極 高備君 男爵伊東 義五郎君 中島 永元君
福永吉之助君 佐々田 懋君 西川 甚五郎君

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガナケレバ、日程第十、第十一ハ東ネテ問題ニ供シ、同一委員ニ付託イタシマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 第十、東京市區改正條例中改正法律案、第十一、京都市又ハ大阪市ノ市區改正ニ關シ東京市區改正條例及東京市區改正土地建物處分規則ヲ準用シ得ルノ法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

東京市區改正條例中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正七年三月十九日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵徳川家達殿

東京市區改正條例中改正法律案

東京市區改正條例中左ノ通改正ス

第一條中「閣令」ヲ「勅令」ニ改メ第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

東京市區改正委員會ハ市區改正ノ設計及毎年度施行スヘキ事業ヲ東京市ノ區域外ニ互リ議定スルコトヲ得

第二條及第十三條中「東京府知事」ヲ「東京市長」ニ改ム

第三條中「東京府區部内」ヲ「東京市」ニ、「地方稅」ヲ「府稅」ニ改メ左ノ一號ヲ削ル

一 清酒 區内ニ輸入又ハ區内ニ於テ釀造販賣スルモノ一石ニ付金

五拾錢以內

第四條中「租稅滯納處分法」ヲ「國稅滯納處分ノ例」ニ改ム

第五條中「東京府區部」及「東京府區部内」ヲ「東京市」ニ、「東京府知事」ヲ「東京市長」ニ、「東京府區部會」ヲ「東京市會」ニ改ム

第六條中「府縣會規則」ニ依リ東京府知事東京府區部會ニ付シ「東京市長東京市會ニ付シ」ニ改ム

第九條及第十一條中「東京府知事」ヲ「東京市長」ニ、「東京府區部會」ヲ「東京市會」ニ改ム

第十條中「東京府知事」ヲ「東京市長」ニ、「精算帳及計表」ヲ製シ翌年通常會議ノ初メニ於テ之ヲ東京府區部會ニ報告シ「其決算ヲ東京市會ニ報告シ」ニ改ム

第十二條中「東京府區部」ヲ「東京市」ニ、「東京府知事」ヲ「東京市長」ニ、「東京府區部會」ヲ「東京市會」ニ改ム

第十四條 市區改正ノ事業ハ東京市長之ヲ執行スヘシ

第一條第二項ノ規定ニ依ル事業ニシテ東京市ノ區域外ニ於テ施行スヘキ部分ハ前項ノ規定ニ拘ラス其地ノ町村長之ヲ執行スヘシ但シ勅令ノ定ムル所ニ依リ町村長其執行ヲ東京市長ニ委託シ又ハ內務大臣東京市長ヲシテ之ヲ執行セシムルコトヲ得

市區改正事業ニ依リ生シタル營造物ノ管理ニ付テハ前二項ノ例ニ依ル

第十四條ノ二 前條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ要スル費用ハ東京市又ハ東京市及事業地ノ町村ノ負擔トス

前項ノ負擔ニ付テハ關係市町村ノ意見ヲ聞キ東京市區改正委員會ノ議定ヲ取り內務大臣之ヲ定ム

前二項ノ規定ニ依ル費用ニ關シテハ市區改正ノ費用ノ例ニ依ル

第十六條ヲ削ル

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

京都市又ハ大阪市ノ市區改正ニ關シ東京市區改正條例及東京市區改正土地建物處分規則ヲ準用シ得ルノ法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正七年三月十九日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵徳川家達殿

京都市、又ハ大阪市ノ市區改正ニ關シ東京市區改正條例及東京市區改正土地建物處分規則ヲ準用シ得ルノ法律案

東京市區改正條例及東京市區改正土地建物處分規則ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ全部又ハ一部ヲ京都市、又ハ大阪市ノ市區改正ニ關シ之ヲ準用スルコトヲ得

附則

○其ノ他ノ市

○小字ハ衆議院ノ修正、ハ同削除ノ符號ナリ

○及內務大臣ニ於テ指定シタル市

○其ノ他ノ市

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣男爵後藤新平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵後藤新平君) 唯今提出ニナリマシタ東京市區改正條例中ノ改正法律案、竝ニ京都市又ハ大阪市ノ市區改正ニ關シ東京市區改正條例及東京市區改正土地建物處分規則ヲ準用シ得ルノ法律案、此二案ニ付テ提出ノ理由ヲ簡簡ニ申上ゲマス、是ハ近來都市ノ急激ナル膨脹ニ鑑ミマシテ、營業上、衛生上、又ハ防火上、交通上ニ關シテ各、利害共通ノ地域、即チ市區ノ外ノ地域ニ於テ永久公共ノ福利ヲ増進セシムルガ爲ニハ、茲ニ適當ナル調査ヲ爲シ、其遂行ヲ期セナケレバナラヌト云フ爲ニ、此法案ヲ提出イタシマシタ譯デアリマス、京都市大阪市ニ於テ、此東京ノ市區改正土地建物處分規則ヲ準用イタシマスルコトモ隨ツテ必要ヲ見ルコトハ論ヲ俟タヌコトデアリマス、近來此都市ノ不規則ナル發達ガ、日ヲ經ルニ從ツテ將來ノ大困難ヲ醸スト云フコトハ、貴族院ニ於テモ屢、御質問ガ出テ居ルヤウナ譯デアリマシテ、當局ニ於テハ此制ハ一日モ緩ウスベカラザルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ茲ニ東京市區改正條例中ニ改正ヲ加ヘ、而シテ之ヲ又京都市大阪市の市區改正ニ用ヒルコトニ致サウト云フノデアリマス、然ルニ衆議院ニ於キマシテ是ニ修正ヲ加ヘ、其他「内務大臣ニ於テ指定シタル市」ト云フコトニ致シテ、京都市、大阪市ノ外ニ必要ト認メタルトキニハ、之ヲ擴ゲテ用ヒルト云フコトニ修正サレタノデアリマス、此事ハ時勢ノ必要ト認メマシテ、政府ニ於テモ同意ヲ致シタ次第デアリマス、御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ……

○山脇玄君 私ハ内務大臣ニ質問ヲ致シマス、東京市ハ帝都デアツテ、人口ガ増加スルト云フ次第デアリマス、唯今ノ東京市街ノ有様ヲ見テ見マスルト如何デアリマセウカ、是デ日本ノ帝都トシテ恥ヂザルダケノ設備ガ完全シテ居ルト申サレマセウカ、或ル外國人ノ評ヲ聞キマスルト、東京市ハ雨ガ降レバ泥田デアアル、天氣ガ好ケレバ河原デアアルト云フ評ヲ致シテ居リマスルガ、是ハ一理アルト考ヘマス、斯様ニ面積ノ廣イ東京、此場所ヲ帝都ニ恥ヂザルダケノ體裁ヲスルコトハ、ナカク東京市民ノ財力ノ堪ヘル所デハナカラウト考ヘルノデアリマス、幸ニ此度改正案ガ出ル、段々御調査モアルヤウナ唯今ノ御話デアリマスガ、内務大臣ハ此際ニ東京市ト云フ區域ヲ狹メテ、其部分ヲ完全ニ設備シテ、帝都ニ恥ヂザル體面ニスルト云フ御考ハアリマセヌカ、

其段ヲ一應伺ヒマス、殊ニ此節自動車ト云フモノガ來マシテ、我々徒歩主義ノ者ニハ非常ナ不便ヲ與ヘルノデアリマス、ソレハ即チ今日ノヤウナ道路ニシテ居ツテ、アノヤウナ交通機關ヲ以テ運轉スルト云フコトハ、甚ダ權衡ヲ得テ居ラヌト私ハ考ヘル、サウ云フイロノナコトモアリマスカラ、ドウカ此際ニ帝都タル市ト云フモノノ範圍ヲ幾分か……其部分ダケヲ完全ナモノニスルト云フヤウナ御考ハ有ルカ無イカヲ内務大臣ニ伺ヒタイ

〔國務大臣男爵後藤新平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵後藤新平君) 唯今山脇君ノ御質問ハチヨット聞取レヌ所ガアリマシタガ、大要此東京市ノ現在ノ交通上ノ困難其他ニ對シテ、十分ナル改善ヲスル抱負ガアルヤ否ヤト云フヤウナ御尋ト考ヘマシタガ……

〔山脇玄君「東京市ヲ少シ狹メテ其部分ヲ完分ナモノニスル……」ト述フ〕

其點ニ付テ御答イタシマス、東京市ヲ小サクシテ完全ニスルト云フコトハ、從來アル所ノ議論デアリマスルガ、此事ハ小サクシテ完全ニスルト云フコトモ一ツノ方法デアリマセウ、又東京市ノ周圍ニ對シテ市區改正ノ目的ヲ完ウシ、交通上其他百般ノ文明生活ニ適當スルヤウナ施設ヲ爲スト云フコトノ必要モアリマセウ、是等ノ點ニ付キマシテハ十分攷究ヲ致シテ、今後ニ施設ヲ試ミヤウト思ツテ居ルノデアリマス、東京市竝ニ東京市ト共通ノ利害ヲ持ツテ居ル所ノ地域ニ對シテ、此制度ヲ擴ゲテ用ヒヤウト云フコトハ全ク山脇君ノ御質問ノ趣旨ニ適フヤウナモノト考ヘマス、唯市區ヲ小サクシテ其完全ヲ圖ルト云フバカリデハナイノデアリマス、市區ノ周圍一里ト云ヒマスカ二里ト云ヒマスカ、之ニ對シテ相當ナル計畫ヲ定メテ、都市ノ完全ナル計畫ヲ試ミナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、是ハ唯道路トカ地面上ノ關係バカリデハナク、今日以後ニハ地下ノ建設物ニ付テ大ナル講究ヲ要スルノデアリマス、地下ノ建設物ニ對スル講究ノコトニ付キマシテハ、從來下水其他此電信電話ニ關スルモノ、水道、是位ニ止ツテ居リマシタケレドモ、今後ノ地下ノ建設物ハ是等ニハ止マラヌノデアリマスカラ、東京市竝ニ東京市ト利害ヲ同ジウスル所ノ周圍ニ及ボス所ノ計畫ヲ定メテ、サウシテ完全ナル施設ヲナスノ基礎ヲ定メナケレバナラヌト考ヘテ居リマス

○男爵石黒忠憲君 私ハ内務大臣ニ質問ヲ致シマスルガ、唯今段々都市ノ造營物ニ付テ御話ガアリマシタガ、本員ハ數年來毎年ノヤウニ内務省當局者ニ

質問ヲ致シマシタ、段々此日本ノ建物が高クナル今日ニ至リマスルト、東京「ステーション」ノ前ナドニハ随分高イモノガ、出來テ居リマスガ、本員ガ觀察イタシマスル所ニ依リマスルト、各消防署ニ備ヘテアリマスル唧筒竝ニ梯子ト云フヤウナモノハ、アノ高イ建物ノ上マデ水ガ届キ、若ハ梯子ガ届クト云フヤウナコトハドウモナイヤウニ本員ハ見受ケテ居リマス、アノ高イ建物ノ上ニ火災等ガ起リマシタトキニハ、人命救助ハ内務大臣ハドウシテナサル御積リデアルカ、伺ッテ安心イタシタイ、此事ハ毎年ノヤウニ本員ハ老婆心デアリマスルケレドモ、當局ニ伺ッテ居リマスル、當局ハ今取調ベテ居ルカラ、何レ手ヲ著ケルト云フ御答デアリマスガ、ドンナ手ガ著イテ居リマセウカ、アノ高イ物ヲ建テルコトヲ御許シニナッテ、アノ上ニ人間ガ住ンデ居リマシテ、サウシテ火災等ノ起ッタトキニアノ高イ建物ヲ建テテ居リマスル其家ノ持主ガ救助ヲ致シマスルカ、國家ガ救助イタシマスルカ、此救助ノ仕方ハドウシテナサイマスカ、天狗様ノヤウニ雲ノ中カラ飛ンデ行ッテ救フ譯ニモ行キマスマイガ、梯子ガドウナッテ居ル、水ガドウナッテ居ル、唧筒ノ装置ハドウナッテ居ルカト云フコトヲ伺ヒマシテ安心ヲ致シタイ、今日モ私ハ通り掛ッテ、アノ家ニ住ンデ居ル人ガ不慮ノコトガ起ッタラ、ドウシテ其人ガ助カルダラウト心配ラシタ

〔國務大臣男爵後藤新平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵後藤新平君) 唯今石黒男爵ノ御質問ハ至極御尤モナコトデアリマシテ、當局ニ於テモ始終忘レザル問題ノ一ツデアリマス、此建築條例ノコトニ付キマシテモ、十分ナル基礎トナルベキ調査ヲナシ、相當ノ法令ヲ設ケナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、唯今日ニ於テハ病院ニ於テ多少ノ取締ガアルバカリデアリマシテ、其他ノモノニ對シマシテハ非常ノ場合ニ於テ十分ナル救済ノ途ガ付イテ居ラヌト云フコトハ缺點デアルト考ヘラレマス、又消防ノ改良ト云フコトニ付キマシテハ全ク時代ニ相當シテ居ラヌト云フコトハ單リ梯子ノミデハナイノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテモ警視廳ニ於テ今調査中デアリマス、相當ノ方法ヲ立テルノ必要ガアルト考ヘテ居リマス

○男爵石黒忠惠君 尙ホ伺ヒマスガ、然ラバアノ高イ所デ、現今警視廳ニ備ヘテアリマセヌ、人命救護ノ具ガ備ヘテアリマセヌ、其力ノ及ビマセヌ所ヘハ住居スルコトハ御許シニナリマセヌノデゴザイマセウカ、住居ハシテモ構

ハヌガ、救済スル方法ハ私ノ方ニハナイ、斯ウ云フ御考デアリマスガ、尙ホ伺ヒマス

〔國務大臣男爵後藤新平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵後藤新平君) 住居ハ許スノデアリマス、而シテ救助方法ハ今日出來得ルダケノ救助方法ヲ現在ニ於テハ盡スヨリ外ハナイト考ヘマス、唯高イ建物ヲ見ルト、是レ一ツノヤウデアリマスガ、一體東京市ノ住居ト云フモノハ健康上斯ウ云フ所ニ國民ヲ住居サセテ宜シイカ、宜シクナイカト云フ問題ニナリマス、同一ノ問題ニ皆到著スルノデアリマスカラ、此度ハ都市計畫調査委員會ト云フモノヲ設ケルコトニ對シマシテ、既ニ衆議院ニハ之ガ爲ニ費用ヲ要求シテ居リマス、建築家、土木家ヲ初メトシテ、當世ニ於ケル科學的知識ノ善能ヲ集メテ、出來得ルダケノコトヲ致サウト今計畫シツ、アル所デアリマス

○男爵石黒忠惠君 マダ安心ガ出來マセスカラ伺ヒマスガ、サウスルト住居スルコトハ勝手ニ住居サセル、救フコトハ出來ルダケノコトヲスルガ、其高イ所ニ住居シタ者ヲ必ズ救フト云フ道具ハ完全シテ居ラス、併ナガラ三階ノ所ハ二階マデハ届ク、二階マデ行クガ、三階マデハ及バヌケレドモ、ソレハ三階マデハ届カヌケレドモ、三階ニ住居スルコトハ構ハヌ、斯ウ云フ御考デアリマスガ

〔國務大臣男爵後藤新平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵後藤新平君) ソレハ今日ノ所デハ住居ハ禁ジナイノデアリマス、此住居ヲ禁ジナイ四階五階ノ所ニ於テ救助ノ方法アリヤ否ヤト言ッタナラバ、其救助ノ方法ハ講ズルダケノコトヲ致シマスガ、今之ニ對スル救助ハ斯様ナモノデアルト云フモノノナイト云フコトハ石黒男爵ノ御説ノ通りニ認メテ居リマス

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔圖書記官朗讀〕

東京市區改正條例中改正法律案外一件特別委員

侯爵花山院 親家君 子爵松平 乘長君 男爵石黒 忠惠君
古市 公威君 男爵辻 太郎君 湯淺 倉平君
田島 竹之助君 江原 素六君 堀 正一君

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガナケレバ日程第十二、第十三、東ネテ問題ニ供シ同一委員ニ付託イタシマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十二、日本興業銀行法中改正法律案、第十三、朝鮮銀行法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

日本興業銀行法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正七年三月十九日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵徳川家達殿

日本興業銀行法中改正法律案

日本興業銀行法中左ノ通改正ス

第六條中「日本興業銀行ノ業務ヲ分掌ス」ヲ「日本興業銀行ノ業務ヲ分掌シ又ハ之ニ參與ス」ニ改ム

第九條ニ左ノ二號ヲ加フ

第八 十五年以内ニ於ケル年賦償還又ハ五年以内ニ於ケル定期償還ノ方

法ニ依リ船舶又ハ製造中ノ船舶ヲ抵當トスル貸付

第九 造船材料又ハ船舶屬具ヲ擔保トスル貸付

第九條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ外主務大臣ノ認可ヲ受ケ株式ノ應募又ハ引受ヲ爲スコトヲ得

「第四章 債券」ヲ「第四章 興業債券」ニ改ム

第十六條ノ二 日本興業銀行ノ債券ノ模造ニ關シテハ通貨及證券模造取締

法ヲ準用ス

第二十條ニ左ノ一項ヲ加フ

主務大臣ハ必要アリト認ムルトキハ支店代理店ノ設置ヲ命スルコトヲ得

朝鮮銀行法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正七年三月十九日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵徳川家達殿

朝鮮銀行法中改正法律案

朝鮮銀行法中左ノ通改正ス

第七條中「總裁」ヲ「總裁、副總裁各」ニ改ム

第八條第三項中「理事」ヲ「副總裁及理事」ニ、同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

副總裁ハ總裁事故アルトキ其ノ職務ヲ代理シ總裁關員ノトキ其ノ職務ヲ行フ

第九條中「總裁」ヲ「總裁及副總裁」ニ改ム

第十條中「總裁及理事」ヲ「總裁、副總裁及理事」ニ改ム

第十七條第一項ニ左ノ一號ヲ加フ

八 信託ノ業務

第二十二條中「三千萬圓」ヲ「五千萬圓」ニ改ム

第三十八條中「代理スル理事」ヲ「代理スル副總裁」ニ、「理事ノ分擔業務ニ

係ルトキハ理事」ヲ「副總裁又ハ理事ノ分擔業務ニ係ルトキハ副總裁又ハ理事」ニ改ム

第三十九條中「理事」ヲ「副總裁」ニ改ム

第四十條中「總裁又ハ理事」ヲ「總裁、副總裁又ハ理事」ニ改ム

〔國務大臣勝田主計君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(勝田主計君) 唯今議題ニ上ツテ居リマス日本興業銀行法中改正法律案ノ趣旨ハ、興業銀行ヲシテ船舶ニ對スル所ノ金融ノ道ヲ開カセタイ

ト云フコトガ一ツデアリマス、即チ船舶竝ニ造船中ノ船舶ニ對シテ年賦ノ貸

付ヲナサシメル、又船舶ノ附屬品或ハ造船材料ニ對シテ貸付ノ途ヲ開カシメ

ルト云フコトモ一ツデゴザイマス、第二ニハ興業銀行ヲシテ主務大臣ノ認可

ヲ得タル場合ニ限リ株式ノ引受應募ヲナスコトガ出來ルト云フコトガ此法律

案ノ眼目デゴザイマス、此他ニ尙ホ些細ナコトガアリマス、即チ支店、出

張所等ヲ政府ガ命ジテ開カシメルト云フヤウナ事柄、或ハ從來興業銀行ガ發

行イタシマス所ノ債券ニ特別ノ名ガ付イテ居リマセヌノデ、之ヲ興業債券ト

云フ名ヲ付ケマスルトカ、或ハ重役即チ理事ガ特ニ各事務ヲ分掌スルト云フ

コトニナツテ居リマシタノヲ、餘リソレデハ窮屈ニ過ギマスルカラ、分掌シ又

ハ參與スルト云フヤウナ事柄ニ致シマストカ、輕微ノ事柄ノ改正ガ之ニ載ッ

テ居ル次第デゴザイマス、朝鮮銀行法改正ノ趣旨ハ朝鮮ニ於キマスル所ノ保

證準備ノ擴張デゴザイマス、御承知ノ如ク、朝鮮銀行ハ明治四十四年ニ保證

證準備ノ擴張デゴザイマス、御承知ノ如ク、朝鮮銀行ハ明治四十四年ニ保證

證準備ノ擴張デゴザイマス、御承知ノ如ク、朝鮮銀行ハ明治四十四年ニ保證

準備額ヲ三千萬圓ニ定メタノデアリマス、然ルニ其後ノ狀況ヲ見マスルト、御承知ノ如クニ朝鮮ニ於キマスル所ノ種々ナル事業ノ發展ノミナラズ、此銀行ハ北支、滿蒙等ニ於テ數十ノ支店ヲ持チマシテ大ニ活動ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、殊ニ正金銀行ニ代ハリマシテ滿蒙ニ於キマスル所ノ金券ノ發行ヲ一手ニヤツテ居リマスルヤウナ次第デ、此事ダケデモ既ニ四百五十萬圓バカリノ發行ノ増加ガアルヤウナ次第デゴザイマス、最近ニ於キマシテハ六千餘萬圓ノ發行ヲ致シテ居リマス、即チ千萬圓内外ノ制限外發行ヲ續ケテ居ルト云フヤウナ状態デアリマシテ、恰モ先頃本院ニ提出イタシマシタ所ノ、即チ臺灣銀行ニ於ケルト同様ノ状態デゴザイマスルノデ、此際保證準備ノ三千萬圓ニ二千萬圓ノ増加ヲ致シ、五千萬圓ニ致シマシテ、益、此銀行ヲシテ活動ヲ圓滑ナラシメタイト云フノガ此精神デゴザイマス、斯ク致シマスル以上、竝ニ朝鮮銀行ノ活動ノ範圍ガ擴ガリマシタ事柄カラ致シマシテ、他ノ特殊銀行トノ比較ニ鑑ミマシテ副總裁ヲ一人置キタイト云フコトガ其他ニ規定ヲ致シテゴザイマスルノデ、其他各特殊銀行ニハ大概信託業務ト云フモノガ出來ルコトニナツテ居リマス、然ルニ朝鮮ニ於キマシテハ、此信託業務ト云フ事柄ガ此途ヲ開イテ居リマシテモ、從來ハ餘リナカッタノデアリマスルガ、段々朝鮮ニ於テモ此途ヲ開イテ置キマシテ信託業務ヲナスベキ餘地ガアル、又朝鮮以外ニ於テモ其餘地ハアルヤウナコトニナリマシタカラシテ、信託業務ヲ之ニ入レタイト云フノガ此案ノ改正ノ精神デゴザイマス、何卒御審議ノ上協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス
〔岡書記官朗讀〕

- 日本興業銀行法中改正法律案外一件特別委員
- | | | |
|---------|----------|----------|
| 伯爵松浦 厚君 | 男爵尾崎 三良君 | 子爵牧野 忠篤君 |
| 荒井賢太郎君 | 男爵本多 政以君 | 男爵津田 弘道君 |
| 石井省一郎君 | 室田 義文君 | 美馬 儀一郎君 |

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十四、郡制中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

郡制中改正法律案
右本院提出案及送付候也

大正七年三月十九日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長大岡育造

郡制中改正法律案

郡制中左ノ通改正ス
第三十六條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項假議長ノ選舉ニ付テハ年長ノ議員議長ノ職務ヲ代理ス年齢同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第四十三條第一項中「法律命令ノ規定ニ依リ郡會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ」ノ下ニ「本法中別段ノ規定アル場合ヲ除ク外」ヲ加ヘ「其ノ他ハ第十五條乃至第十七條ノ規定ヲ準用ス」ヲ削ル

同條第二項ヲ左ノ如ク改ム
前項ノ場合ニ於テハ第十五條及第十六條ノ規定ヲ準用ス其ノ投票ノ效力

ニ關シ異議アルトキハ郡會之ヲ議決ス
同條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第一項ノ選舉ニ付テハ郡會ハ其ノ議決ヲ以テ指名推選ノ法ヲ用ウルコトヲ得

第四十五條ニ左ノ二項ヲ加フ

議員定員ノ半数以上ヨリ請求アルトキハ議長ハ其ノ日ノ會議ヲ開クコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ議長仍會議ヲ開カサルトキハ第三十六條ノ例ニ依ル

前項議員ノ請求ニ依リ會議ヲ開キタルトキ又ハ議員中異議アルトキハ議長ハ會議ノ議決ニ依ルニ非サレハ其ノ日ノ會議ヲ閉チ又ハ中止スルコトヲ得ス

第五十四條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

前二項ノ場合ニ於テハ第十五條第十六條及第十八條ノ規定ヲ準用ス其ノ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ郡會之ヲ議決ス

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス
〔岡書記官朗讀〕

- 郡制中改正法律案特別委員
- | | | |
|--------|----------|----------|
| 服部 一三君 | 子爵野宮 定毅君 | 子爵五條 爲功君 |
|--------|----------|----------|

男爵杉溪 言長君 男爵神田 乃武君 山之内 一次君
 川上 親晴君 植竹三右衛門君 大矢馬太郎君

○議長(公爵德川家達君) 日程第十五、科學及工業教育ニ關スル建議案、會議

〔成瀬書記官朗讀〕

科學及工業教育ニ關スル建議案

右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

大正七年三月十八日

發議者

伯爵林 博太郎 江木 千之 男爵村上 敬次郎

木場 貞長

贊成者

公爵德川 慶久	伯爵大原 重朝	伯爵正親町 實正
伯爵清棲 家教	伯爵吉井 幸藏	伯爵松浦 厚
伯爵寺島 誠一郎	伯爵柳澤 保惠	伯爵柳原 義光
伯爵奥平 昌恭	伯爵松平 賴壽	子爵松平 直平
子爵青木 信光	子爵牧野 忠篤	子爵酒井 忠亮
子爵前田 利定	子爵井上 匡四郎	子爵水野 直
子爵野村 益三	子爵大河内 正敏	子爵池田 政時
子爵八條 隆正	淺田 德則	平山 成信
男爵高木 兼寛	高崎 親章	男爵中川 興長
男爵村木 雅美	男爵内田 正敏	男爵山内 長人
男爵南岩倉 具威	男爵斯波 忠三郎	藤田 四郎
石黒 五十二	仁尾 惟茂	石渡 敏一
伊澤 多喜男	桑田 熊藏	日高 榮三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

科學及工業教育ニ關スル建議

歐洲大戰カ吾人ニ與ヘタル教訓ニ鑑ルニ科學及工業ノ隆盛ナルト否トハ國家ノ生存ニ至大ナル關係ヲ有スルコト益々明確ナリ然ルニ本邦ニ於ケル科學及工業ニ關スル專門教育ノ状態ヲ觀ルニ其ノ設備規模之ヲ列強ニ比シ其

ノ及ハサルコト遠シ故ニ斯學ニ志スノ徒ニシテ其ノ設備ノ不充ナルカ爲或ハ其ノ修學ヲ阻害セラレ或ハ其ノ研究ヲ遂行シ得サルモノ、少カラサルハ今日ノ實況ナリ世界ノ大勢ニ隨ヒ國家ノ須要ニ應ジ科學及工業ニ關スル教育制度ヲ改善シ其ノ設備ヲ擴張スルコトハ實ニ國家ノ急務ナリト信ス政府ハ速ニ適當ノ方策ヲ講シ科學及工業ニ關スル專門教育ノ發達ニ努力セラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔伯爵林博太郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵林博太郎君 科學及工業教育ニ關スル建議案提出者ノ一人ト致シマシテ、簡單ニ其理由ヲ御説明イタシマス、御賢察ノ通り歐洲ノ大戰亂ガ勃發シマシテ以來我々ニ最モ適切ナル教訓ヲ與ヘタルモノノ一ツハ理化教育、即チ科學及工業教育ノ振興ニ俟タナケレバナラスト云フコトデゴザイマス、國家ノ生存ハ個人ノ生存ト同ジク、世界ノ競争場裡ニ立ッテ我が帝國ノ威力ノ増進ヲ圖ル爲ニハ、即チ其原動力ト致シマシテ、茲ニ理化並ニ工業教育ノ實效ヲ期サナケレバナラスト考ヘルノデゴザイマス、我が敵國タル所ノ獨逸ニ於キマシテハ、近頃此科學的精神ト云フ言葉ヲ使ヒ、之ニ依ッテ自然科學的思想ノ普及ガ國家ノ生存ヲ保ツ上ニ最モ重大ナルモノデアルト云フコトヲ云フヤウニナッテ居ルノデゴザイマス、而シテ我國ノ教育界ノ狀況ヲ見マスト云フト、相當ナル學校組織ノ内容ニ付キマシテモ、又其設備ニ於キマシテモ、此理化並ニ工業教育ニ關スル方面ハ頗ル遺憾ニ存ズル點ガ多イノデゴザイマス、即チ其例ト致シマシテハ既ニ諸君ニ於テモ御承知ノ通りニ、例ヘバ工業學校ノ入學率ノ如キモ極メテ哀レナル有様ヲ呈シテ居ルノデゴザイマス、東京ノ此高等工業學校等ノ入學率ナドヲ見マスト、漸ク五分ノ一位、五人ニ付テ一人位シカ入學ガ出來ナイト云フ實ニ哀レナル狀況ニナッテ居ルノデゴザイマス、デ簡單ニ是等ノ點ニ付テ御紹介ヲ致シテ置ケバ、工科大學ノ學生ノ數ハ我が敵國タル所ノ獨逸ト比較イタシマスルト云フト、獨逸ハ一萬六千四百十六人、我が日本帝國ニ於キマシテハ一千六百三十二人ト云フ、丸デ比較ニナラナイヤウナ狀況ニアルノデゴザイマス、理科、工科、農科ノ志望者並ニ其入學者ノ率ヲ申シマスト云フト、三千二百人餘リノ中デ以テ入學者ハ僅ニ七百三十八人餘デアリマシテ、是亦五分ノ一ノミノ收容力シカナイノデアリマス、之ヲ他ノ法科ナドニ比較イタシテ見マスト云フト餘程其率ガ少イ

ノデゴザイマス、尙又設備ノ方ニ付テ申上ゲマス、科學的精神ノ根本デナクテハナラナイ、其精神ヲ振興スル所ノ土臺デナクテハナラナイ所ノ我が帝國ノ理科大學ノ經費ハ、大正六年度ニ於テ五萬八千九百六十圓デアリマス、同ジク理科ニ屬シマスル所ノ航空學科ノ經費ハ大正七年度ニ於テ新タニ出來タノデアリマスガ、ソレガ七萬八千七百圓、理科ノ全部ノ經費即チ天文臺カラ植物園、臨海實驗所等ヲ加ヘマシテ、此實驗費カラ圖書費マデ合セマシテ五萬八千餘圓位シカナイ、航空學科ノ經費ニモ及バナイダケノ額デ全部ニ於テ満足シテ居ナケレバナラナイヤウナ遺憾ナル狀況デアリマス、又工科大學ノ經費モ大正六年度ニ於キマシテ七萬八千七百六十一圓、是モ亦極メテ我が帝國ノ現狀ニ照シテハ少イ額ダト考ヘルノデゴザイマス、詳シイコトハ申上ゲマセズデモ恐ラク御承知ノコトト存ジマスルガ、斯ノ如キ狀況ニ於テ此科學及工業教育ガ其設備、規模竝ニ其就學ノ方面ニ於キマシテ誠ニ遺憾ナル狀況デアルト云フコトハ言フマデモナイコトト信ズルノデゴザイマス、此故ニ此科學、工業ニ關スル所ノ教育ノ制度ヲ改善シ、之ガ増進ヲ圖ル所ノ方法ヲ講ズルノハ誠ニ急務デアルト考ヘルノデゴザイマス、殊ニ此高等學校増設ト云フコトガ實行セラレル場合ニ於テ、大學ノ收容力ガ斯ノ如キ狀況デアッテハ誠ニ残念ナコトデアルト思フノデアリマスカラ、ソレ等ニ付キマシテモ遺憾ナキヲ期シタイト思フノデアリマス、茲ニ專門教育ニ付キマシテ建議案ヲ出シタノデゴザイマス、是ハ大學竝ニ專門學校、京都高等工藝學校其他總テノ方面ニ互リマシテ、出來ルダケ完全ナル設備ト收容力ヲ得ルヤウニ致シタイト考ヘルノデアリマス、此故ニ中等教育ニ於ケル所ノ理科ノ設備等ニ付キマシテハ此中ニ入ッテ居リマセスケレドモ、是等ニ付テモ政府ニ於テ十分ニ尙ホ考慮セラレムコトヲ望ム次第デゴザイマス、此赤門ヲ入リマシテ理科大學ハ何處ニ在ルカト云フコトハ、其場所ヲ聞カヌデモ、其建築物ノ一番小サナノヲ見付ケレバソレガ理科大學デアルト云フ今日ノ狀況デアアル、而シテ其地質學ノ方面ノ研究材料ヤ、動物ノ材料ヲ集メタモノナドモ多クハ理科大學ノ中ニ移サレテ仕舞ヒマシテ、ソレ等ハ他ノ分科大學ノ教室ニ充テラレテ居ルト云フヤウナ今日ハ狀況ニナッテ居ルノデアリマスデ、理科大學ト云フモノハ一見シテ見マスルト、工科大學ヨリモ其重要ナ點ニ於テ劣ッテ居ルヤウナ風ニ見エマスケレドモ、決シテサウデナイノデアリマス、理科大學ノ中ノ純正化學ノ如キハ、工科大學中ノ應用化學ト相待ッテ高等ナル原理ノ蘊奧ヲ

究メテ、サウシテ或ハ染料ニ或ハ細菌學デアルトカ云フヤウナ方面ニ於テ十分ナ研究ヲ致シテ貫ハナケレバナラナイノデアリマス、故ニ理科大學ニ於ケル原理ヲ研究スルト云フコトハ、即チ實際方面ニ非常ナル裨益ヲ與フルコトト考ヘルノデアリマス、工科大學モ亦應用化學ト云ヒナガラ單ニ實際的方面ト云フバカリデナク、是モ理論ト云フモノヲ十分研究シナケレバナラヌト思ヒマス、之ト同時ニ其設備ト收容力ヲ得マシテ、實驗其他ニ於テ遺憾ナキヲ期スルト云フコトハ言フマデモナイコトデアリマスガ、先程統計ナドニ於テ述ベマシタ通り、其點ニ於テ非常ニ遺憾ナル點ガ多イノデゴザイマス、斯ノ如キ狀況デゴザイマスカラシテ、理化學ノ方面ニ人物ヲ得ルト云フコトハ頗ル困難デゴザイマス、御承知ノ如ク、理化學研究所ト云フヤウナモノガ出來マシタケレドモ、其中ニ於キマシテ極ク必要ナル所ノ人物ヲ得ルト云フコトガ今日非常ニ困難デアルト云フ一事ニ付テ見テモ分ルト思フノデアリマス、教育ノ中堅ト致シマシテ此科學及工業教育即チ大學ノ工科、理科ヨリ農科大學ニ附イテ居リマスル農藝化學、其他工藝學校、縣立ノ工業學校等、是等專門ニ屬スル所ノ方面ニ於テ遺憾ナキヲ期スルト云フコトハ、今日ノ時局ノ大勢ニ從ッテ國家ノ爲ニ極メテ重大ナルコトト考ヘルノデアリマス、理化學研究所其他社會教育、理化ニ於ケル民衆教育ト云フコトニ付キマシテ理化教育、工業教育ノ中堅ガ完全デナケレバ其實效ヲ奏スルコトハ出來ナイト云フコトハ、英國ト獨逸ノ實況ニ付テ考ヘテ見テモ直チニ分ルコトト考ヘルノデアリマス、即チ千八百八十年ヨリ致シマシテ英吉利ノ殊ニ倫敦ノ中ニ於テ「トインビーホール」其他五十モ普通教育竝ニ理化教育講習ノ仕事ヲシテ居ルモノガ澤山出來テ居ルノデアリマス、然ルニ今日ノ戰爭ヲ見ルト、是等ノ講習事業ニ對シマシテ徹底シタル所ノ中堅トシテノ專門ノ講師ノ統一ガナイ爲ニ、實際ニ於テハ何等ノ效果ヲ奏サヌト云フ譯デハナイガ、其效果ガ少イノデアリマス、即チ今日ノ戰爭ハ理化ノ戰爭ガ重モノデアルト云フコトハ御承知ノ通りデアリマスルガ、我が敵國タル所ノ獨逸ノ狀況ヲ以テ見レバ、此「トインビーホール」ノ出來マシタヨリモ遙カノ後ニ於テ、大學ガ中心トナッテ此理化及工業教育ト云フモノヲ一般民衆ニ普及スル方法ヲ講ジテ居ル、其講習會其他協會ノ數ナドモ茲ニ述ベマス違ノナイ位ニ非常ナ數デアリマス、其中ニ就テ二ツノ最モ重大ナルモノガアリマスガ、即チ「エルンスト、ヘッケル」ガ唱道シマシタ所ノ獨逸一元協會……「デル、ドイッチェル、モニステン、ブ

ンド」ト云フモノガ「ミュンヘン」ニアリマシテ、ソレガ伯林初メ一般各所ニ支部ヲ置イテ活動シテ居ル、其會長ハ「オストワルド」デアツテ、此理化學的精神ヲ國民全部ニ普及スルコトヲ努メテ居ル、其他「ケブラー、ブンド」、……「ケブラー」協會ト云フモノガ出來テ居リマス、ソレガ英吉利デスウ云フ社會教育ガ起ツタヨリモ遙カノ後ニ於テ出來テ居ル、此二ツノ協會ガ中心ニナツテ、今日ニ於テハ巡回講習會其他色々ノモノガ出來テ居ル、而カモ「フオルクス、ホッホシユール」ト云ヒマシテ、民衆専門學校トデモ譯シマセウカ、此専門學校ノ教員ガ講師トナリマシテ、サウシテ此民衆ニ理化學ノ知識ヲ十分普及スル方法ヲ講ジテ居ッタノデアアル、其結果トシテ現代ニ於テ生ジタノハ遅クハアリマスガ、實際ノ戰爭ニ於テ雌雄ヲ決シテ居ル現狀ト云フモノハ御承知ノ通り、獨逸ノ内部ニハ聯合國ノ兵ガ一步モ這入ルコトガ出來ナイ位理化學ノ常識ガ發達シテ來テ居ッタノデアアル、是ガ即チ早ク氣ガ付イタ、遅ク氣ガ付イタト云フコトデナイ、理化學工業教育ノ中堅ガ振フカ振ハナイカニ依ツテ是ガ決マルコトハ、之ニ依ツテモ分ルコトト考ヘルノデアリマス、是等ノ理由ニ依リマシテ、此科學及工業教育ニ關スル所ノ建議案ヲ提出イタシマシタ所ノ次第デゴザイマス、デ我が締盟國タル英國ニ於テハ此進取教育、自由教育デアルト云フコトノ爲ニ、自然科學者トシテ有名ナ「バックスレー」其外繼續者ガ努力シマシタ謂ハユル化學的精神ノ普及ト云フ理想ハ、頗ル遅レタノデアリマスガ、一昨年千九百十六年來茲ニ氣ガ付イテ、英國ニ於テモ新ラシキ思潮トシテ科學的思想ノ普及ヲ圖ラナケレバナラスト云フ機運ニ向ツテ來タノデアリマシテ、我が帝國ニ於キマシテモ之ニ鑑ミテ、茲ニ科學及工業教育ノ振興ヲ圖ラナケレバナナイト云フ所ノ機運ニ際會イタシタト思ヒマス、以上ハ即チ此建議案ヲ提出イタシマシタ理由ノ一端デアリマス、斯ノ如ク簡單明瞭ニシテ御賢察ノ通りデアリマスニ依ツテ、何卒諸君ノ御協贊ヲ得マシテ、此建議案ヲ即決アラムコトヲ希望イタシマス次第デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ他ニ御發言モナイト存ジマスカラ採決ヲ致シマス、本案ヲ可トセラレル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス、次ノ日程ハ決定次第御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會

午前十一時四十三分散會